

2021 年度前期対面授業（感染拡大防止）ガイドライン

2021年3月12日版

学生、教職員の皆さんへ

全学危機管理委員会

2021 年度前期対面授業（感染拡大防止）ガイドラインの策定について

「北星学園大学における2021年度の授業実施方針について」(2021.2.8 大学ウェブサイト公表 <https://www.hokusei.ac.jp/news/important-20210208/>)に基づき、感染予防と教育効果の最大化を図るために、「2021 年度前期対面授業（感染拡大防止）ガイドライン」を策定しました。

2021 年度の授業については、本学の危機管理ステージ3（制限小）以下の場合、新しい生活様式と感染拡大防止対策を継続して実施しながら、対面授業の実施を基本とし、感染予防の観点やその他の必要性に応じて非対面授業（遠隔授業）を取り入れる予定です。

【北星学園大学危機管理ステージ改訂版（2021.3.10）】 <https://www.hokusei.ac.jp/hgu/wp-content/uploads/2020/11/b6291919bdf4dd89e326a8e1fc55c7d.pdf>

大学に登校し対面授業を受講する場合や、対面授業の前後に学内で遠隔授業を受講する場合は、本ガイドラインを遵守して行動するようお願いいたします。

なお、本ガイドラインは、2021年3月12日時点での、北海道及び北星学園大学の状況をもとにしています。今後の政府による緊急事態宣言の発出、北海道の集中対策期間の設定、大学内での感染拡大が確認される事態などでは対面授業の継続が難しくなる場合も想定されます。そのような場合、本学の危機管理ステージのレベルを上げ、ステージ4（制限中）以上では、非対面授業（遠隔授業）の実施を基本とし、さらに事態が悪化すれば全ての授業科目を遠隔授業に切り替える判断を行う場合もあります。その場合には、本文書の内容も変更されますので、大学のウェブサイトで随時、確認してください。

1. 対面授業の実施における感染拡大防止措置について

① 登校にあたっての注意事項

- 毎日、自分の体調確認と登校当日朝の検温を必ず実施してください。
体調管理表：<https://cgw.hokusei.ac.jp/hgu/wp-content/uploads/2020/05/体調管理表（学生）.pdf>
 - 平熱が高い場合、入館時にサーマルカメラで熱が高いとチェックされることがあり、入構できない可能性があります。この場合に備え、平熱が高いことを示すため、自身が記録した体調管理表を携帯してください。
- 体調に少しでも異変を感じた場合は、登校を控えてください。
- 公共交通機関を利用する場合、なるべく混雑を避け、必ずマスクを着用してください。
- 体調不良により授業を欠席する場合は、授業開始時間より前にメール等で担当の先生に連絡するとともに、電話で教育支援課または学生生活支援課（011-891-2731）に連絡をしてください。

【体調不良により欠席した場合の情報保障について】

体調不良により対面授業を欠席した場合は、Moodle を活用するなど、欠席した学生が授業の情報を得られるように対応します。詳細は担当の先生に確認してください。

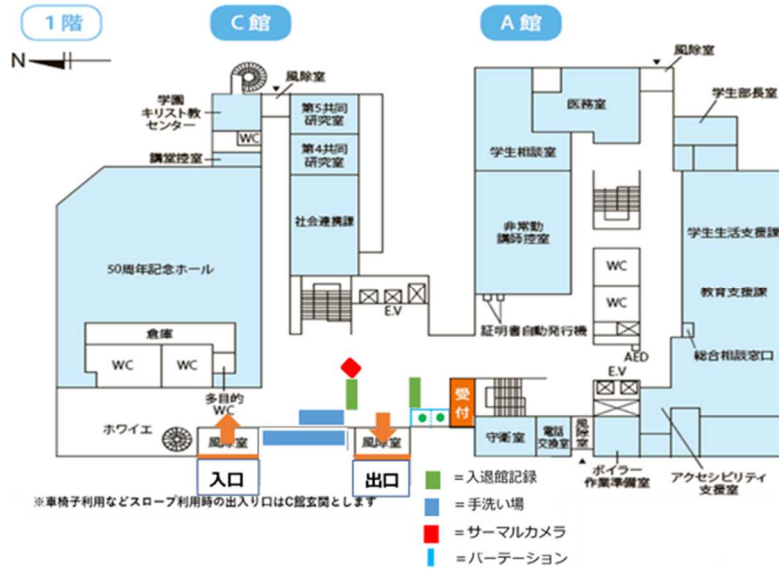
② キャンパス内の入構、校舎入館にあたっての注意事項

- 通学した日に学内で利用した施設や教室については、「行動記録表」に記録しておいてください。<https://cgw.hokusei.ac.jp/hgu/wp-content/uploads/2020/07/行動記録表.pdf>
- キャンパス内では、人との距離を可能な限り 1~2メートル保ち、マスク（不織布のもの）を着用してください。
- 対面授業にあたり、不織布マスクをしてこなかった場合は、その日に限り、大学の備蓄マスクをお渡しいたしますので、C館の学生受付に申し出てください（布マスク等に不織布の組み合わせは可）。
- キャンパス内には手洗い場を設置しています。校舎入館時に石鹸で手を洗うか、玄関に設置している手指消毒用アルコールで消毒してください。授業の前後にも、こまめに手洗いと手指消毒を実施してください。



- 校舎（A・B・C館、図書館）への入館はC館玄関に、退館する場合はA館玄関に限定（下図参照）します。図書館棟玄関も施錠しますので、C館玄関から入館してください。
- 本学の危機管理ステージにより入構記録が必要な場合（ステージ4以上）は、学生証をICカードリーダーにタッチして入退館願います。学生証を忘れた場合は記録簿に学籍番号、氏名等の必要事項を記入してください。
- C館にサーマルカメラを設置します。C館から入館後、本人画像で体表温を確認し、高温であれば学生受付に申し出て保健師のチェックを受けてください。体表温を確認する際は立ち止まらずに通過し、画面上で自分の顔の枠線が赤くなっていた場合や、守衛から声をかけられた場合は立ち止まって指示に従ってください。発熱等の体調異常を認められた場合及び保健師の勤務時間外や不在で健康観察ができない場合は、入館できませんので欠席の連絡等をしてください。守衛も別モニターでサーマルカメラの画面を確認できるようになっています。
➤ 平熱が高い人は、平熱が高いことを示すために体調管理表を提示してください。
- 体育館やセンター棟など校舎以外を利用する場合も、まず玄関のサーモカメラにて体表温を確認してください。本学の危機管理ステージにより入構記録が必要な場合（ステージ4以上）は、ICカードリーダーによる入退館記録の確認を行ってください。
- 校舎内ではエレベーターやトイレの手洗い場、教室前の廊下等、狭い場所での私語を控え、飛沫感染のリスクを抑えてください。また、エレベーターは密を避けるため一度の利用人数を制限しています。可能な限り階段を利用しエレベーター内の混雑回避に努めてください。

【2021年度前期の校舎開錠状況図】



※車いすでスロープを利用される方や、台車利用の方はC館玄関から退館してください。

③ 教室、情報実習室などの利用についての注意事項

- 教室・情報実習室での対面授業では、3密を回避するよう『使用禁止』の張り紙等がされている机には着席せず、お互いに距離を保ってください。また担当教員の指示に従ってください。
- 普通教室の収容人数は、定期試験体制の人数（教室の座席数の半数）以下としています。
- 授業中は常時窓を開け換気をするか、担当教員の指示に従い、窓側に着席されている学生は約30～45分毎に窓を開け教室内の換気に協力をお願いします。
- 授業時間の始業・終了時にはチャイムが鳴り、手洗い励行の校内放送が流れますので、必ず石鹸で手を洗い持参のハンカチで拭くか、消毒液で手指の消毒をしてください。学内の各所に手指消毒液を設置しています。
- 特に、教室・情報実習室への入室前には必ず手指消毒を行うか、石鹸で手を洗ってください。なお、情報実習室には消毒効果のある洗剤と拭き取り用ペーパーを配置しますので、必要に応じて使用者がマウスやキーボード等の消毒を実施してください。



- 水分補給を含め、情報実習室、CALL 教室等での飲食は一切できません。水分補給等を行う場合は、一旦教室の外に出てください。
- 換気のため、天候によっては寒いことがありますので、各自、服装で調節してください。

- 情報実習室の利用時間は、平日（8：45～20：00）、土曜日（8：45～16：45）です。状況により閉室することもありますので、必ず総合情報センターHP (<https://cgw.hokusei.ac.jp/ipc/>) で利用時間を確認してください。
 - 対面授業の前後に遠隔授業がある学生は、情報実習室、CALL 教室、指定された社会的距離を保てる遠隔授業受講教室：B500 教室（机に電源あり）の他、無線 LAN 環境のあるスペース（A 館・C 館のラウンジ、図書館、大学会館 2 階ホール）などを利用して、他の人と距離を保ちつつ、イヤホン等を使用して授業を受講してください。
 - ▶ 声を出す必要のある授業を受けている学生もおり、話し声が聞こえることがありますので、各自で授業の音声聞きやすいように音量を調整してください。
- ④ 対面授業での注意事項（教職員は以下の注意を守って対面授業を行います）
- 基本的に「着席禁止」の座席は利用しないでください。
 - ▶ ただし、やむを得ない事情により着席禁止の席を一時的に利用する場合は、至近距離での会話をしないなど、感染防止対策を徹底してください。
 - 対面授業の実施時は、何らかの方法で出席者の着席位置を記録してください。
 - ▶ あらかじめ座席を指定して出席者を記録する、着席自由とし授業内で着席位置を把握する方法が考えられます。
 - ▶ 学生の皆さんは、自分が座った位置（座席番号や場所）を、念のため自分でも記録しておいてください。
 - ▶ 授業中に座席を移動した場合にも、着席位置を記録しておいてください。15 分以上その席にとどまることが目安となります。
 - グループワークや発表など、学生の発話を伴う授業や、やむを得ず身体との接触を伴う授業については、換気を行いつつ、以下の点を遵守して下さい。
 - ▶ <発話を伴う授業>
 - ☆ 発話者同士の距離を 1m 以上（可能であれば 2m 以上）確保し、マスク（不織布）を必ず着用する。
 - ☆ ホワイトボードなどの用具を使用する場合は記入する担当者を決め、ペンなどの道具を使いまわさない。また除菌シートなどを準備し、使用の前後に手指や用具の消毒を行う。
 - ☆ 発話時に大きな声を出さないようにする。
 - ▶ <身体との接触を伴う授業 ※可能な限り避けてください>
 - ☆ 必ずマスク（不織布）を着用し、顔と顔が向き合うような状態にはならないようにする。
 - ☆ 除菌シートなどを準備し、接触前後に身体や器具の消毒を行う。
 - ステージ 3 以上では感染リスクの高い活動は控えてください。
- ⑤ 図書館の利用についての注意事項
- 図書館の開館時間は、平日（8：45～20：00）、土曜日（8：45～16：45）です。状況により変更することもありますので、必ず図書館HP (<https://opac.hokusei.ac.jp/library/>) で開館時間を確認してください。
 - 原則として図書館棟の玄関は閉鎖されています。C 館から入構し、2 階チャペル前の渡り廊下を通して図書館に入館してください。

- 図書館2階入館ゲート手前に「手指用アルコール消毒液」を設置しています。入館前と退館後に使うのはもちろんのこと、必要に応じて適宜ご利用ください。



- 図書館内で利用可能な貸出用ノートパソコンを用意しています。利用希望者は申込書に必要事項を記入の上、学生証と合わせてカウンターに提出してください。
- 新館4階はマイクを使用する遠隔授業専用のフロアです。座席に卓上パーテーションを設置してある席を利用してください。また、窓側の個人キャレルも利用できます。なお、マイクを使用しない遠隔授業では、新館4階以外のフロアで受講してください。
- 図書資料の貸出は原則として『セルフ貸出機』をご利用ください。雑誌、付録を利用する資料などに関しては、図書館のカウンターにて貸出を行います。
- 送料実費負担での郵送貸出も行っています。詳しい返却方法や条件等について図書館ホームページのお知らせ (<https://opac.hokusei.ac.jp/library/?q=ja/node/1128>) をご覧ください。
- 郵送貸出か対面貸出かを問わず送料を元払いしている場合に限り、ゆうパックでの郵送返却も認めています。詳しい返却方法や条件等について図書館ホームページのお知らせ (<https://opac.hokusei.ac.jp/library/?q=ja/node/1213>) で紹介していますので、郵送貸出と合わせてご確認ください。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間、本館2階『話せる学習エリア』を通常の閲覧席としています。
- 新館2階『休憩室』と4階『グループ学習室』は換気することができないため閉鎖しています。それに伴い、休憩室内の自動販売機も利用できませんのであらかじめご了承ください。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、館内での水分補給を含む飲食は一切できません。水分補給等を行う場合は、貴重品と学生証を持ち館外でお願いします。
- カバン等にしまっておくことのできない飲料品や食品は図書館に持ち込まないてください。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ブランケットや荷物入れの貸し出しは行っておりませんのでご了承ください。
- 図書館主催の各種ガイダンス(卒論・ゼミ論応援コースやデータベースの使い方など)はZoomで行っています。希望者は図書館 (etsuran@hokusei.ac.jp) までお問い合わせください。なお、ガイダンスの内容等はこちら (https://opac.hokusei.ac.jp/library/?q=ja/search_support) からご確認ください。
- VPN 接続サービス (学外から学内専用データベースを利用する方法)については、こちら (<https://opac.hokusei.ac.jp/library/?q=ja/node/1189>) で解説しております。なお、利用しているパソコンのOSによりソフトウェアの導入方法が異なります。ご注意ください。
- 図書館やデータベースの利用方法などを図書館活用ガイド「助太刀くん」で解説しています。こちらのページ (<https://opac.hokusei.ac.jp/library/?q=ja/sukedachi>) で公開していますので、ご利用ください。

2. 大学における感染拡大防止対策について

- 学内においてはエレベーターや、A館・B館・C館の教室・実習室等のドア・窓・スイッチパネル及び라운ジのテーブル・椅子、体育館のロッカー室やフィットネスルームなどに抗菌・抗ウイルスコーティングを施しています。
- 学内の各所に手指消毒液を設置しています。
- 対面授業を行う教員は、マスク（不織布）を着用して授業を行います。必要に応じてフェイスガードも利用します。
- すべての教室は、換気システムにより常時換気しています。廊下や라운ジは窓を開けて適宜換気しています。窓を閉めないでください。
- 教室の机は、毎日、放課後に消毒効果のある洗剤で清掃を実施しています。
- 校舎内の共用部（エレベーターのボタン、階段手摺など）は、1日1回以上、消毒効果のある洗剤で清掃を実施しています。
- 昼食や飲食は、感染防止のために社会的距離を保って、黙食で、C館の라운ジや、センター棟1階の国際交流라운ジ、大学会館（生協）2階ホールなどのフリースペースをご利用ください。
- 各라운ジや、大学会館2階のホールは座席数を減らし、テーブルに飛沫防止用のパーテーションを設置しています。社会的距離を保って利用してください。対面でマスクを外して話をしないようにしてください。
- 感染防止のため教室内のごみ箱は全て撤去します。ごみは各自持ち帰って処分してください。
- 水を飲むためのウォータークーラー（冷水機）は、当面の間利用を中止しています。



センター棟について

- ① 1階カフェは平日、10:00～14:00で営業を行う予定です。今後も状況によって営業時間の変更および休業する場合があります。国際라운ジの座席は利用できます。
- ② 2階ラーニング・コモンズは平日（9:00～17:00）で利用可能です。いずれの場所も人との距離を保って利用してください。

体育館の利用について

授業及びサークル課外活動のみ認められています。詳細は学生生活支援課までお問い合わせください。



3. 大学生協の利用について

- 大学生協や食堂のある大学会館に入館する時にも、不織布マスクの着用、石鹸による手洗い
またはアルコールによる手指消毒を必ず行ってください。

① 1階店舗 [購買・書籍・旅行カウンター]

- 営業は、平日 10:00～18:00 で行います。今後も状況によって営業時間変更および休業する場合がありますので、北星学園生協ホームページ「営業時間」などを確認してください。
- 商品陳列棚、レジでは他の人と距離（1～2メートル）をとり、間隔を空けてください。

1階店舗における主な防止対策・取組状況



2020/6
北星学園

② 3階食堂

- 営業は、平日 11:00～13:30 で行います。今後も状況によって営業時間の変更および休業する場合がありますので、北星学園生協HP (<https://www.hokkaido.seikyuu.ne.jp/hokusei/>) にて「営業時間」を確認してください。
- 必ず、石鹸での手洗いまたはアルコールによる手指消毒を行ってから利用してください。箸・スプーン・調味料は出食カウンターにてお渡しいたします。特に、箸・コップなどの食器類やドレッシングなどの調味料類は共用で提供していますので、手指の衛生に十分に注意して利用してください。 「マイ箸」などの持参を推奨します。
- 配膳カウンター、レジでは他の人と距離（1～2m）をとり、間隔を空けて並んでください。
- 座席の間隔を空けるため利用不可の座席を設けていますのでご注意ください。
- テーブルには飛沫防止のパーテーションを設置します。食事中(マスクを着していない時)の会話は控え、「黙食」を心がけ極力ひとりで食べてください。
- 食堂に入れる人数が限られています。座席の利用はなるべく 15 分程度以内にし、食事を終えたら速やかに席を譲ってください。
- 食堂にて提供する食事以外の目的で座席を利用することは出来ません。

食堂における主な防止対策・取組状況



2020/6
北星学園

③ センター棟 1階のカフェ

- 1階カフェの営業は、平日 10:00～14:00 で行います。今後も状況によって営業時間の変更および休業する場合があります。北星学園生協ホームページ「営業時間」などを確認してください。

4. 保健所の積極的疫学調査への協力について

- 学生及び教員の陽性が確認された場合は、保健所が行う積極的疫学調査に協力をお願いします。政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会の尾身茂会長は「実は大学の授業でうつるということではなくて、やっぱり一番は部活動」と2月2日の記者会見で述べています。
- 教室の座席間の距離、換気などの環境は文科省のガイドラインを満たしていますが、国の「新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学調査実施要領」に基づき、保健所が陽性の確認された人と同じ教室にいた学生及び教員を対象にPCR検査を行う場合があります。
- 課外活動中及びその前後には感染予防に努めてください。

5. 体調管理と日常生活の過ごし方について

○新しい生活様式を取り入れましょう。(右図参照)

国が示した「新しい生活様式」を取り入れ、一人ひとりが感染防止に努めてください。基本は①「三密(密集、密接、密閉)」を避けること、②「マスクを着用すること」、③「こまめな手洗いを実施すること」です。ただし、夏場のマスク着用は熱中症予防の観点で、柔軟な対応が求められています(厚生労働省ホームページより※3)。

○日常生活で守っていただくこと

- ・風邪の症状や味覚・嗅覚の異常、だるさなどの症状が少しでもあれば自宅療養し、「学生・教職員の疑い者発生時の対応フロー」(※1)に従って対応してください。
- ・体調管理のため、毎日検温し「体調管理表」(※2)に記録を付けてください。アプリの活用もおすすめです。(※1、※2の必要なフロー、記録用紙は医務室のウェブサイトからダウンロードできます。
https://cgw.hokusei.ac.jp/health_news/190455/)

・換気が悪く、人が密になって集まるような場面や空間には行かないでください。

・狭い場所でマスクを着けずに話をするはやめましょう。

・医療機関を受診する際は、必ず事前に連絡をしてから受診してください。

・厚生労働省が開発した「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)」をインストール(不具合が見られることがありますので、最新版をダウンロード)して活用しましょう。

(スマホのBluetoothを利用して近接したスマホ同士の記録を取ります(14日間保存)。新型コロナウイルスの陽性者がアプリに陽性であることを登録すると、その陽性者と過去14日間近接した可能性がある人に通知されます。)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

・北海道庁の「北海道コロナ通知システム」も活用しましょう。

(施設利用やイベント参加の際、QRコードからEメールアドレスを登録し、同日、同施設を利用した他の人から新型コロナウイルスの感染者が確認された場合、北海道からEメールが来るシステムです。)

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/coronaalertsystm.htm>

(※3) https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本: ①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗い

□人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける。
 □会話をする際は、可能な限り**裏正面**を避ける。
 □外出時や屋内でも会話をするとき、**人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する**。ただし、**夏場は、熱中症に十分注意する**。
 □家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。
 □人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
 □**手洗いは30秒程度**かけて**水と石けんで丁寧に洗う**(手指消毒薬の使用も可)。
 ※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

□感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
 □発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
 □地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的な生活様式

□こまめに**手洗い・手指消毒** □咳エチケットの徹底
 □こまめに換気(エアコン併用で室温を28℃以下) □身体的距離の確保
 □「**三密**」の回避(密集、密接、密閉)
 □一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
 □毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅療養








(3) 日常生活の各場面別の生活様式

<p>買い物</p> <p>□店舗も利用 □1人または少人数ですいた時間に □電子決済の利用 □計画をたてて早早く済ます □サンプルなど展示品への接触は控える □レジに並ぶときは、前後にスペース</p> <p>観劇・スポーツ等</p> <p>□公園はすいた時間、場所を選ぶ □動トレやヨホホは、十分に人との間隔を もしくは自宅で動画を活用 □ジョギングは少人数で □すれ違うときは距離をとるマナー □予約制を利用してゆったりと □狭い部屋での長居は無用 □歌や応援は、十分な距離がオンライン</p>	<p>公共交通機関の利用</p> <p>□会話は控える □混んでいる時間帯は避けて □徒歩や自転車利用も併用する</p> <p>食事</p> <p>□持ち帰りや出前、デリバリーも □屋外空間で気持ちよく □大皿は避けて、料理は個々に □対面ではなく横並びで座ろう □料理に集中、おしゃべりは控える □お酌、グラスやお箸の回し飲みは避けて</p> <p>イベント等への参加</p> <p>□接触確認アプリの活用を □発熱や風邪の症状がある場合は参加しない</p>
---	---

(4) 働き方の新しいスタイル

□テレワークやローテーション勤務 □時差通勤でゆったりと □オフィスはひろびろと
 □会議はオンライン □対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成